

人類史に残る負の遺産

アパルトヘイト



- 1 何が「別々」にされたの?
- 2 なぜ南アフリカにヨーロッパ系の人がいるの?
- 3 どうやって撤廃されたの?

基本を押さえてこ

アパルトヘイトって?

南アフリカ共和国(南アフリカ)で20世紀に行われていた人種差別政策のことです。支配層にあった少数派のヨーロッパ系(白人)が、多数派のアフリカ系(黒人)や黒人と白人の血統を受け継いだ「カラード」と呼ばれる人々などのさまざまな権利を制限し、厳しく差別しました。アパルトヘイトという言葉は、南アフリカの言語の一つ「アフリカンス語」で「分かれていること」という意味です。

南アフリカってどんな国?

アフリカ大陸の南端に位置しています。人口は日本の半分ほどですが、面積は日本の3倍以上、人口の8割は黒人で、白人は1割にも届きません。ほかにもさまざまな人種がいることから、「虹の国」とも呼ばれています。公用語は12もあり、国語は五つの言語で構成されています。かつては金などの鉱業が盛んでしたが、現在は製造業や金融業が発達しており、アフリカ諸国の経済を引っ張る存在です。行政、司法、立法府が別々の都市にあるため、世界で唯一首都が三つあります。

南アフリカ共和国メモ

面積 ● 約122万km² 人口 ● 約6203万人

首都 ● プレトリア(行政)、ケープタウン(立法)、ブルームフォンテン(司法)

言語 ● 英語、アフリカンス語、ソト語、コソ語、ズールー語など

宗教 ● キリスト教、イスラム教、ヒンズー教、ユダヤ教、伝統宗教



1 あらゆる権利や自由が白人と非白人で分けられた

アパルトヘイトで制限された権利や自由

施設の使用

白人用のみが高水準な施設であることが多かった

「分離施設留保法」によりレストランや病院、トイレなどの公共施設が白人用と非白人用に区別された

居住の自由

「土地法」や「集団地域法」で人種ごとに住む場所が決められた

ほんの30年前まで起きていたことなんだね

教育を受ける権利

「バンツュー教育法」で白人と非白人は別々の学校に行き、公立学校で黒人が学べる科目は限られた

黒人の教育に充てられた予算は少なく、授業の環境は劣悪で教師の数も不足した

恋愛・結婚の自由

「雑婚禁止法」などにより白人と非白人の結婚などが禁止された

撤廃されたけど...

民主化が実現し経済は成長したものの、格差の構造は簡単には変わりませんでした。経済格差を表す「ジニ係数」は世界最悪で、特に黒人の失業率は非常に高まっています。その貧しさから凶悪犯罪の発生率が高く、殺人と殺人未遂の発生数は日本の約60倍にもなります。根底には、アパルトヘイト時代からの教育格差があると指摘されています。

2 ヨーロッパから白人が移住した

17世紀にオランダ人が、航海の拠点として南アフリカにケープタウンという基地をつくり、移住したのが始まりです。移住したオランダ人たちは「アフリカーナー」と名乗り、土地を支配しました。19世紀初頭にケープタウンはイギリスの領土となり、アフリカーナーたちは新たな土地を求めて北に向かいました。その後、金鉱山を巡ってイギリスとアフリカーナーの間で戦争が起き、イギリスが勝利しました。しかし、1910年に南アフリカが一つの国として成立して以降は、アフリカーナーとイギリス系移民の白人たちは協同して、元からの黒人たちを支配する体制を築いていきました。

3 黒人らによる抵抗運動と国際社会からの批判

黒人たちは抵抗運動の組織「アフリカ民族会議」を結成し、制度の廃止を訴え続けました。1950年代以降、南アフリカは国際社会から批判を浴び、貿易を制限するなどの経済制裁を科され、国際スポーツ界からも締め出されました。国内外でアパルトヘイトへの非難が高まる中、アフリカーナーのフレデリック・デクラーク氏が89年に大統領就任。刑務所にいたネルソン・マンデラ氏を釈放し、アパルトヘイトに関連する主要な法律を廃止しました。94年に初の全人種参加の選挙を行い、民主化を達成しました。

ネルソン・マンデラ (1918~2013年)

アパルトヘイト抵抗運動の象徴的存在です。1962年に政治犯として逮捕され、27年間に牢獄で過ごしました。獄中でも勉強を続け、アフリカーナーとの対話を見据えて彼らの文化を学びました。釈放された後、全人種が参加した総選挙で94年に大統領に選ばれました。任期中は白人との融和や暴力の根絶に尽力し、1期5年を務めて若い世代に道を譲りました。アパルトヘイトの撤廃に貢献したとして、93年にデクラーク氏と一緒にノーベル平和賞を受賞しました。

ラグビーワールドカップ

第3回ラグビーワールドカップは、アパルトヘイトが撤廃されて間もない南アフリカで、1995年に開催されました。国際的な制裁が解かれ、初めて参加した南アフリカは数々の激戦を制して優勝しました。「アフリカーナーに人気のスポーツ」とされていたラグビーですが、南アフリカのチームではアフリカーナー以外の選手も活躍。代表チームのユニホームを着たネルソン・マンデラ大統領が、チームのキャプテンに優勝トロフィーを手渡した瞬間は、世界の人々に南アフリカの融和を印象づけました。

まとめとこ

想像力を動かしてみよう

人種差別をイメージすることは難しいかもしれませんが、例えば、黒人の友人と一緒にレストランに行っても、その友人だけが同じテーブルにつかず、1人だけ店の外で待っている。外で待つ人は常に黒人でした。これが差別ということですか。こういふことが勉強や就職などあらゆる場面で起きるといふことです。南アフリカは人種差別を完全に解決できたわけではありませんが、アパルトヘイトの撤廃により、自分で生き方を決められる可能性を上げた国だとと言えます。

講師 甲斐 大志 先生

上林 朋広 先生

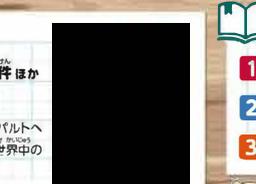
文法 文法 先生

もっと知っとこ!

止めたい! 人種差別

① アジア人差別が起こした銃撃事件ほか (川邊正樹監修、関根真理編著、汐文社)

ネルソン・マンデラ元大統領を中心にアパルトヘイトについて解説しています。その他にも、世界中の人種差別の事例を紹介しています。



おさらいしとこ

- 1 南アフリカ共和国の国歌は□つの言語で構成されている
 - 2 南アフリカに住むオランダ系の白人は何と呼ばれている?
 - 3 アパルトヘイトの意味は?
- 答えは7頁の右下です